

令和7年度
コミュニティ・スクール筑紫野市立原田小学校便り

学級数 29学級
児童数 711人

原田の風 7月号



筑紫野市美しが丘南2-10-5 TEL: 926-1156 FAX: 926-1161
令和7年7月4日(金)

早いもので、新学期がスタートし、子どもたちの元気な声が学校に響き渡ってから3ヶ月が経ち、いよいよ夏休みを目前に控えました。6年生のプール掃除や修学旅行、芸術鑑賞会など、様々な行事や活動を通して子どもたちは多くの学びと成長を遂げてくれました。これもひとえに、日頃より本校の教育活動に対し、保護者の皆様や地域の皆様から温かいご理解とご協力をいただいておりますことと、心より感謝申し上げます。

さて、前期前半も終わりに近づき、夏休みまで残りわずかとなりました。学校では、これまでの学習の成果や一人ひとりの成長を振り返り、見えてきた課題については、復習や更なる練習に取り組んでいきます。ご家庭におかれましても、前期前半のお子様の頑張りや成長を大いに認めていただくと共に、目標や計画を立て、有意義な夏休みとなるようご協力をお願いいたします。

この度、コミュニティ・スクール筑紫野市立原田小学校の学校だより「原田の風」は、環境保護への配慮と、保護者の皆様へのより迅速な情報提供のため、今回より紙面での配付を終了し、tetoruによる配信へと移行させていただきます。今後も、学校の様子や子どもたちの活躍、重要な学校行事のお知らせなどを定期的にお届けしてまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

学習参観のご参加ありがとうございました

6月20日(金)学習参観でした。多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、少し緊張した面持ちながらも、お家の方に見守られ、張り切って学習に取り組む姿を見せてくれました。学級の温かい雰囲気や、仲間との学びの様子を直接ご覧いただけたことと思います。今回の参観を通して、学校とご家庭が連携を深める良い機会となりました。



【学習参観の様子】

学びを深めた長崎の旅！6年修学旅行

6月4日(水)と5日(木)の2日間、6年生が長崎へ修学旅行に行ってきました。歴史深い長崎の地で、子どもたちは平和学習に真剣な眼差しで取り組み、平和の尊さについて深く考える貴重な時間となりました。友達と協力しながら行動し、学びを深める中で、一人ひとりが大きく成長したことと思います。たくさんの思い出と学びを持ち帰った最高の旅でした。



【平和集会の様子】

新しい発見がいっぱい！4年生の車いす体験

6月23日(月)4年生は福祉体験学習で車いす体験に挑戦しました。この日は、講師の先生方に丁寧に教えていただきながら、実際に車いすに乗ったり、友達を押して移動したりしました。声を掛け合い、助け合う中で、周りの人への優しい気持ちや、誰もが暮らしやすい社会について深く考えるきっかけになりました。



【車いす体験の様子】

本年度の重点目標

なりたい自分（たち）を実現する子供の育成



主体性	身の周りの問題に気づき、当事者意識をもって課題解決を図る子供を育てる。
自律性	自己の目標の実現に向け、粘り強く取り組む子供を育てる。
協働性	自他の違いを認め合い、共に支え合う子供を育てる。

～7月の行事予定～

- 1日（火）5年性暴力対策アドバイザー派遣事業
- 2日（水）6年性暴力対策アドバイザー派遣事業
- 3日（木）5年人権スポーツ教室
1年ぶっくまま
- 14日（月）大掃除週間
- 18日（金）前期前半最終日
全校朝会、給食なし
（7月19日～8月24日 夏休み）
- 7月22日（火）～25日（金）個人懇談



～8月の行事予定～

- 25日（月）前期後半開始日
全校朝会、給食なし
- 26日（火）～29日（金）
全学年5時間授業（給食あり）

～9月の行事予定～

- 3日（水）まなび学級アクロス学校キャラバン事業
2年図書館見学
- 4日（木）2年図書館見学、委員会活動
- 5日（金）6年九州国立博物館見学
- 10日（水）～11日（木）5年自然教室
- 15日（月）敬老の日
- 19日（金）参観
- 23日（火）秋分の日
- 25日（木）委員会活動
- 26日（金）学校運営協議会



熱中症に気をつけよう

今年は梅雨の期間が短く、6月から気温が高い日が続いており、熱中症のリスクが高い状態が続いています。子どもは体温の調節能力が十分に発達していないので、気を配る必要があります。

ご家庭での過ごし方にご配慮ください

- ・屋内では室温をこまめに確認して風通しを確保したり、空調を利用したりする。
- ・屋外では帽子の着用や日傘を使用したり、熱中症指数が高い日は外出を避けたりする。
- ・からだの蓄熱を避けるために、通気性の良い衣服の着用したり、保冷材や冷たいタオルを活用したりする。
- ・屋内でも屋外でも、のどが渇く前に、こまめに水分補給をする。

